

2025年度(令和7年度)学校経営計画(案)

2025年(令和7年)4月1日
学校名 福山市立広瀬学園

I 学校の状況

(1) 学級数(全13学級)

【小】: 8学級(通常学級6, 特別支援学級2)
【中】: 5学級(通常学級3, 特別支援学級2)

(2) 児童・生徒数

学年	通常学級	特支(知的)	特支(自・情)	計
1年	1			1
2年	5		1	6
3年	7			7
4年	6	1		7
5年	4	1	1	6
6年	6	1	4	11
小計	29	3	6	38
7年(中1)	12		3	15
8年(中2)	12	1	1	14
9年(中3)	12	2		14
小計	36	3	4	43
合計	66	8	7	81

(3) 教職員数

	校長	教頭	養護教諭	事務主任	技術員	校務補助員	図書館補助員	計
小	(兼)	1	1	1	2	(兼)	(兼)	5
中	1	1	(兼)	(兼)	(兼)	1	1	4
	学年	通常	特支(知的)	特支(自・情)	介助員	学校支援員	SC	
前期	1年	1						
	2年	1						
	3年	1						
	4年	1						
中期	5年	1						
	6年	1						
	7年(中1)	2						
後期	8年(中2)	2						
	9年(中3)	2						
	小学校	6	1	1	1		(兼)	9
中学校		6	1	1	1	1	1	11
総計		12	4	2	1	1	1	29

※非常勤講師 4名(音楽・美術・技術・家庭科)

II 児童・生徒の状況

○児童生徒の現状

- ・入学時に不登校傾向や特別支援学級在籍していた児童生徒、発達の課題、特性を持った児童生徒。
- ・家庭事情等により児童養護施設から通学する児童生徒が多く在籍している。
- ・学力差も大きくきめ細かい指導が必要。学びへの抵抗感も大きい。
- ・自己肯定感が低く、表現力やコミュニケーション力に課題がある児童生徒が多い。

【資料】どんな子どもたち MTH 研修より

II 学校教育目標

○ 広瀬学園 教育目標

『心豊かで 主体的に学び たくましく生きる子どもの育成』

○ 広瀬学園のめざす子ども像

【自律】 … 夢や目標に向かって見通しをもち、ねばり強く行動できる子ども

【共生】 … 友達の良さを認め、課題解決に向けて共に取り組む子ども

○ 広瀬学園クレド 『自分らしく 仲間とともに ハッピーに』

「自分らしく」：「自律」（「仲間とともに」：「共生」）「ハッピーに」⇒「幸福の追究」

○ つけたい力 『幸せに生きる力（生きていく力）』

○広瀬学園取組みの2本柱

【新教科 広瀬タイム】（学びの個性化）

「自分発見」「仲間とともに」「地域とともに」の3つのテーマを掲げ、課題発見・解決型の学習を推進

・広瀬 ROSE キャンプ（中1）・マイプロ（好きを極める）

・広瀬学園祭 ・広瀬地域の住民との交流を深める「職場体験学習」や「地域貢献活動」

【個別のサポート計画】 個別最適な学び（指導の個別化）の推進

多様な視点・分野から分析し、個に応じた目標設定・支援・振り返りを行う

○ 本年度の重点施策

〈はじめに〉

開校より3年。広瀬学園は、試行錯誤しながら取り組みを重ね、児童・生徒が自分らしく幸せに生活できる学校づくりを進め、唯一無二の未来型学校を創り上げてきた。

本年度より、本学園は第2ステージに入ると考えています。現在の取り組みをさらに進化・加速させ、より子どもたちが幸せを感じられ、自分自身の可能性を信じることができる、未来の学校づくりを進めていく。

取組① 小中一貫 9年間を通した教育活動の

取組② 「広瀬タイム」・「個別のサポート計画」の2本柱をさらに進化・加速

取組③ 全員が来れる魅力ある学校づくり・かかわりのある学校づくりの推進

【参考資料】広瀬学園 どんな学校？どこが好き？どんな学校にしたい